

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-006990

(43)Date of publication of application : 11.01.2002

(51)Int.Cl. G06F 1/16
G09F 9/00
// H04N 5/64

(21)Application number : 2001-104306 (71)Applicant : HEWLETT PACKARD CO
<HP>

(22)Date of filing : 03.04.2001 (72)Inventor : HELOT JACQUES H
DEROCHER MICHAEL D
STEIGER GERALD W
JAMES R COLE

(30)Priority

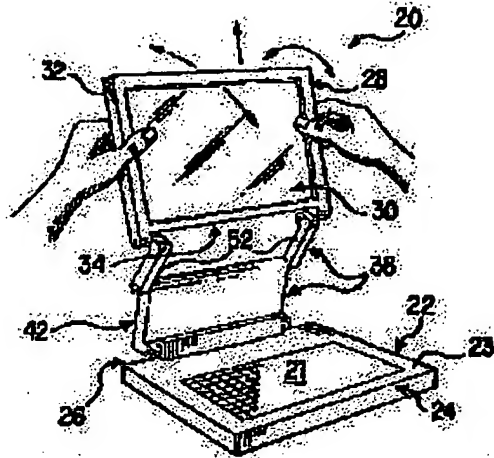
Priority number : 2000 551283 Priority date : 18.04.2000 Priority country : US

(54) COMPUTER EQUIPPED WITH CONNECTING MECHANISM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a computer that is formed so as to be used easily and comfortably.

SOLUTION: The computer (20) is equipped with a computer body (22) and a display (28). The computer body (22) has a front edge part (24) and a back edge part (26), and the display (28) has a display face (30), a back face (32) and a bottom face (34). The back edge part (26) of the computer body (22) is interconnected to the bottom face (34) of the display (28) through the use of a connecting mechanism (36). The display (28) can be rotated around its bottom face (34) by an optional angle within the plural display angles and also can be turned to an optional position within plural positions through the use of the connecting mechanism (36). The display (28) and the connecting feature (36) can be folded together to the folding position. By the installation of a pop-up mechanism, users can pop up the connecting mechanism (36) from the folding position when they make it function.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 05.12.2002

[Date of sending the examiner's decision
of rejection]

[Kind of final disposal of application other
than the examiner's decision of rejection]

or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-6990

(P2002-6990A)

(43) 公開日 平成14年1月11日 (2002.1.11)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 1/16		G 0 9 F 9/00	3 1 2 5 G 4 3 5
G 0 9 F 9/00	3 1 2	H 0 4 N 5/64	5 8 1 C
// H 0 4 N 5/64	5 8 1	G 0 6 F 1/00	3 1 2 F

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2001-104306(P2001-104306)

(22) 出願日 平成13年4月3日 (2001.4.3)

(31) 優先権主張番号 09/551283

(32) 優先日 平成12年4月18日 (2000.4.18)

(33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 398038580

ヒューレット・パカード・カンパニー
HEWLETT-PACKARD COM
PANY

アメリカ合衆国カリフォルニア州パロアル
ト ハノーバー・ストリート 3000

(72) 発明者 ヤキス・エイチ・ヘロット

オランダ国ロッテルダム、ブイシー、
3021, ヘンドリック・ソーシュストラ
ート・87

(74) 代理人 100063897

弁理士 古谷 肇 (外2名)

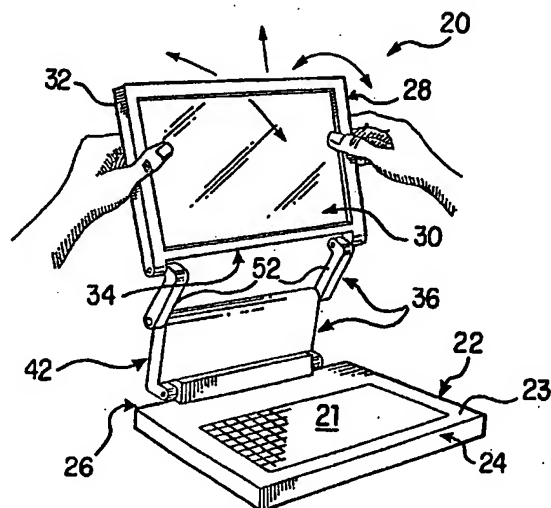
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 連結機構を備えたコンピュータ

(57) 【要約】

【課題】 簡単かつ快適に使用することができるように構成されたコンピュータを提供する。

【解決手段】 コンピュータ(20)は、コンピュータ本体(22)とディスプレイ(28)を備える。コンピュータ本体(22)は、前縁部(24)と後縁部(26)を有し、ディスプレイ(28)は表示面(30)、背面(32)、及び底縁部(34)を有する。コンピュータ本体(22)の後縁部(26)は、連結機構(36)によってディスプレイの底縁部(34)に相互接続される。連結機構(36)により、ディスプレイ(28)は、その底縁部(34)のまわりに複数の表示角度のうちの任意の角度に回転することができ、また、コンピュータ本体(22)上で複数の位置の任意の位置を向くことができる。ディスプレイ(28)と連結機構(36)を折り畳み位置に折り重ねることができる。任意選択的に、ロック機構(52)を設けることにより、ユーザがそれを作動させたときに、連結機構(36)を折り畳み位置からロックさせることができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】前縁部(24)と後縁部(26)を有するコンピュータ本体(22)であって、キーボード(21)が、前記前縁部(24)から使用するための向きに該コンピュータ本体(22)に設けられていることからなる、コンピュータ本体(22)と、

表示面(30)を有するディスプレイ(28)と、連結機構(36)と、

前記連結機構(36)を前記コンピュータ本体(22)の後縁部(26)および前記ディスプレイ(28)に枢動可能に相互接続するための手段を備えたコンピュータ(20)であって、

前記連結機構(36)は、前記ディスプレイ(28)を前記前縁部(24)に近づけたり、遠ざけたりするとともに、前記コンピュータ本体(22)に対して上昇させるように動作することができ、前記ディスプレイ(28)は、前記前縁部(24)に対して前記表示面(30)と共に弧を描くように回転する、コンピュータ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、コンピュータに関し、より詳しくは、ユーザが、複数の空間位置の任意の位置において複数の見る角度(または、表示角度)のうちの任意の角度から、ディスプレイを見ることができるようにする連結機構を備えたコンピュータに関する。

【0002】

【従来の技術】ポータブルコンピュータやノートブックは、通常、コンピュータ本体とディスプレイを備える。コンピュータ本体は、一般に、コンピュータプロセッサと、メモリと、回路と、キーボードやディスクドライブ等他のコンポーネントとを保持する。典型的には、ディスプレイは、単一のピボット軸を形成するヒンジによりコンピュータ本体に取り付けられ、持ち運びの際にディスプレイを畳んだり、ユーザが適切な見る角度を選択できるように開いたりすることができるようになっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このようなポータブルコンピュータの欠点は、ピボット軸が単一であるためにユーザが選択可能な見る位置が制限されることである。この欠点は、飛行機、車等、ユーザの膝、ブリーフケース、ブルアウト式トレイ等の上でコンピュータを使用する環境において特に顕著である。机上での使用または膝の上での使用にかかわらず、見ることが可能な位置が広範囲で、容易かつ快適に使用できるポータブルコンピュータをユーザに提供することが望ましい。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明に従うコンピュータは、コンピュータ本体と、ディスプレイと、ピボット機構と、連結機構とを備える。コンピュータ本体は、前

縁部と後縁部とを有し、コンピュータ本体には前縁部から使用できるような向きにキーボードが配置されている。連結機構は、コンピュータ本体の後縁部、ピボット機構およびディスプレイと相互接続される。連結機構の動作により、ディスプレイを前縁部に近づけたり、遠ざけたりするとともに、コンピュータ本体に対して上昇させることができる。ディスプレイは、前縁部に対して表示面と共に弧を描くようにピボット機構を中心にして回転可能である。連結機構は、ディスプレイがコンピュータ本体に重なる折り畳み位置にディスプレイおよび連結機構を動かすことが可能である。オプションとして、ポップアップ機構は、ディスプレイおよび連結機構と相互接続される。ポップアップ機構は、ラッチ時に連結機構を折り畳み位置に保持し、ラッチ解除時に連結機構をディスプレイ及び折り畳まれた位置からポップアップさせるラッチ機構を有する。

【0005】

【発明の実施の形態】図1を参照すると、コンピュータ20は、コンピュータ本体22、ディスプレイ28、及び連結機構36を備える。コンピュータ本体22は、上部面23、前縁部24、及び後縁部26を有する。ディスプレイ28は、表示面30、背面32、及び底縁部34を有する。キーボード21は、前縁部24からユーザの使用に合わせた向きで上部面23に設けられている。

【0006】図1および図1Aを参照すると、コンピュータ本体22は、連結機構36によりディスプレイ28に相互接続される。連結機構36は、第1のアーム部材42と第2のアーム部材52とを有する。ピボット機構27により、第1のアーム部材42とコンピュータ本体22の後縁部26が相互接続される。ピボット機構47により、第2のアーム部材52とディスプレイ28の底縁部34が相互接続される。第1のアーム部材42および第2のアーム部材52は、ピボット機構57において枢動可能(すなわち、回転可能)に結合される。

【0007】図1Aを参照すると、ピボット機構27は、1つ以上のヒンジなど、コンピュータ本体22の後縁部26に横方向に隣接して延在するピボット軸27aに沿った任意の適切なハードウェアにより形成することができる。ピボット機構47は、同様に、ディスプレイ28の底縁部34に横方向に隣接して延在するピボット軸47aに沿って形成することができる。ピボット機構57も、同様に、ピボット軸57aに沿って形成することができる。ピボット軸27a、47aおよび57aは、並行であることが好ましい。

【0008】第1のアーム部材42は、上縁部44、底縁部46、左縁部48、及び右縁部50を有する。第2のアーム部材52は、一対のアーム54および56が互いに間隔をあけて設けられ、これによりアーム54および56により画定されるリセス51を形成する。第1のピボット機構27は、第1のアーム部材42の底縁部4

3

6をコンピュータ本体22の後縁部26と相互接続する。第2のピボット機構47は、アーム54の第1の端部54bおよびアーム56の第1の端部56bをディスプレイ28の底縁部34と相互接続する。第3のピボット機構57は、アーム54の第2の端部54aおよびアーム56の第2の端部56aを第1のアーム部材42の上縁部44に結合する。

【0009】連結機構36により、ディスプレイ28は、かなり多くのユーザ見ることが可能な位置(または表示位置)を有することが可能になる。具体的には、第3のピボット機構57を中心に第2のアーム部材52が回転することにより、ディスプレイ28は、コンピュータ本体22に対して多数の空間的位置を取ることができる。ピボット軸27aおよび57aを中心にした枢動させると共に、ピボット軸47aを中心に枢動させることにより、ユーザは、ディスプレイ28を上下前後に動かして好ましい表示位置を見つけることができる。

【0010】図2および図4には、コンピュータ20を折り畳み位置58にある状態で示している。この位置では、ディスプレイ28が折り畳まれてコンピュータ本体22に重ねられ、かつ連結機構36がディスプレイ28に重ねられてサンドイッチ構造が形成される。ラッチ機構64は、連結機構36をディスプレイ28の背面32に固定する。このように固定されると、第1のアーム部材42は回転してリセス51(図1A)に嵌まり、アーム部材42がアーム部材52のアーム54および56(図1A)に入れ子式におさめられる。

【0011】図3を参照すると、ディスプレイ28の背面32には、ラッチ機構64により背面32に固定した時に連結機構36を保持するために、リセス68をオプションとして形成することができる。図4および図5を参照すると、ラッチ機構64によりラッチした状態のディスプレイ28および連結機構36は、ピボット軸27aを中心に、典型的な従来技術の単一ピボットを有するか、またはヒンジ接続されたディスプレイとコンピュータ本体と同様に任意の所望の表示位置に回転することができる。

【0012】図6および図7には、ラッチ機構64が解除された状態を示している。ラッチの解除により、第1のアーム部材42および第2のアーム部材52(アーム56の部分のみ図示する)を実質的に平行な面から外れる向きに回転して、種々の拡張されたまたは空間的な位置に配置し、これによりディスプレイ28をコンピュータ本体22の上で複数の表示角度に調整することが可能となる。好ましい実施形態では、ピボット機構27は、連結機構36がラッチ機構64により図2および図4の折り畳み位置にラッチされたときに圧縮されるバネ(図示せず)を備える。ラッチ機構64が連結機構36のラッチを解除すると、バネが解放され、ポップアップ作用により連結機構36を図6に示すようなポップアップ位

4

置に戻す。ポップアップ位置から、連結機構36およびディスプレイ28を図7に示すように開くことができる。当業者には、ピボット機構27が、2つ以上のポップアップ位置を選択できるポップアップ機構を備えることができることが理解されよう。たとえば、2個以上の留め具を、連結機構36およびディスプレイ28の異なる角度のポップアップ位置に対して異なる留め具を選択するセクタとともに配置することができる。

【0013】図8および図9に示す代替の実施形態は、連結機構36を入れ子式の配置関係で収容するようにディスプレイ28の背面32に形成されたリセス部68を備える。この代替の実施形態では、連結機構36がディスプレイ28のリセス68に入れ子式に置かれるときにアーム部材52がアーム部材42に入れ子式に置かれるように、アーム部材42は、アーム部材52より僅かに大きくなっている。

【0014】図10に示すように、第2のアーム部材52を、オプションとして、リセス部68に設けられた対向する一对の対向壁70に摺動可能に取り付けることもできる。したがって、ディスプレイ28を、連結機構36を介して任意の空間位置に移動させることができるとともに、コンピュータ本体22の上のリセス部68に沿った平面内を移動させることもできる。

【0015】図11に示す実施形態はロックノブ80を有するスタビライザ機構81を備えている。ロックノブ80は、第1のアーム部材42および第2のアーム部材52が相互接続されている箇所にあるピボット機構57において取り付けられている。ロックノブ80は、所望の空間位置で第1のアーム部材42および第2のアーム部材52をともにロックするために調整可能である。ロックノブ80の代わりに、スライドロック86(仮想線で図示)を使用してもよい。代替的には、スタビライザ機構81が、図1乃至図11に示すピボット機構27、47または57のそれぞれについて1個以上の摩擦クラッチを備えるようにしてもよい。

【0016】図12に示すコンピュータ20の別の代替実施形態では、溝部72がアーム部材42の中央に配置され、支持部材74がその中に設けられている。支持部材74は、第1の端部76aと第2の端部76bとを有する。溝部72は、支持部材74の第1の端部76aを収容するように構成されており、第1の端部76aは溝部72に移動可能に取り付けられ、これにより支持部材74が溝部72に沿って摺動可能となっている。支持部材74の第2の端部76bは、第2のアーム部材52の第1の端部52aに移動可能に取り付けられており、これにより、支持部材74は、ディスプレイ28がコンピュータ本体22のまわりを複数の空間位置に動かされるときに、連結機構36に対する更なる支えとして作用することができるようになっている。

【0017】図13には、コンピュータ20を、従来の

ノートブックコンピュータ、連結機構を具備するコンピュータ、または、連結機構を受けるドッキングステーション88とともに使用される連結機構を具備するコンピュータとして構成可能なモジュール化された形態で示す。従来のノートブックコンピュータの構成においてディスプレイ28およびコンピュータ本体22との接続のためにヒンジ90が設けられる。ヒンジ90は、コンピュータ本体22上のはめ合い（または、結合）連結構造に接続するとともにディスプレイ28上のはめ合い（または、結合）連結構造に接続する形状および嵌合連結構造を有する。この構成では、ヒンジ90の穴92およびディスプレイ28の底縁部34に形成される一対の穴93を通される（または、通されて螺合される）ロッド（図示せず）により、ピボット動作が与えられる。

【0018】連結機構36のピボット機構27も、コンピュータ本体22のはめ合い（または、結合）連結構造に接続する形状および嵌合構造を有する。ピボット機構47は、ディスプレイ28のはめ合い（または、結合）連結構造に接続する形状および嵌合構造を有する。したがって、ロッド（図示せず）は、ピボット機構47の一対の穴94およびディスプレイ28の穴93を通される（または、通されて螺合される）。ドッキングステーション88は、コンピュータ本体22と略同一の連結構造を有し、これによりドッキングステーション88を、ヒンジ90または連結機構36を介してディスプレイ28とと組み合わせることができる。

【0019】本発明に従ういくつかの実施形態を図示および説明したが、これらの実施形態に対して当業者にとって明らかな種々の変更を行うことが可能である。したがって、本発明は、特許請求の範囲によってのみ制限される。

【0020】以下においては、本発明の種々の構成要件の組み合わせからなる例示的な実施態様を示す。

1. 前縁部（24）と後縁部（26）を有するコンピュータ本体（22）であって、キーボード（21）が、前記前縁部（24）から使用するための向きに該コンピュータ本体（22）に設けられていることからなる、コンピュータ本体（22）と、表示面（30）を有するディスプレイ（28）と、連結機構（36）と、前記連結機構（36）を前記コンピュータ本体（22）の後縁部（26）および前記ディスプレイ（28）に枢動可能に相互接続するための手段を備えたコンピュータ（20）であって、前記連結機構（36）は、前記ディスプレイ（28）を前記前縁部（24）に近づけたり、遠ざけたりするとともに、前記コンピュータ本体（22）に対して上昇させるように動作することができ、前記ディスプレイ（28）は、前記前縁部（24）に向かって（または、それに対して）前記表示面（30）と共に弧を描くように回転する、コンピュータ。

2. 前記動作は、前記ディスプレイ（28）および前記

連結機構（36）を、前記ディスプレイ（28）が前記コンピュータ本体（22）に重なる折り畳み位置に移動させることが可能である、上項1のコンピュータ。

3. 前記ディスプレイ（28）および前記連結機構（36）と相互接続されるポップアップ機構をさらに備え、前記ポップアップ機構は、ラッチ時に、前記連結機構（36）を前記折り畳み位置に保持し、ラッチ解除時に、前記連結機構（36）を前記ディスプレイ（28）からポップアップさせるとともに前記折り畳み位置からポップアップさせるラッチ（64）を有する、上項2のコンピュータ。

4. 前記ディスプレイ（28）と相互接続される第1のピボット機構（47）と、前記連結機構（36）と相互接続される第2のピボット機構（27）とをさらに備え、前記ディスプレイ（28）は、前記折り畳み位置に対して前記第1のピボット機構（47）を中心に回転可能であり、前記連結機構（36）は、前記折り畳み位置に対して前記第2のピボット機構（27）を中心に回転可能である、上項1のコンピュータ。

5. 前記ディスプレイ（28）はリセス（68）を有し、前記連結機構（36）は、前記ディスプレイ（28）および前記連結機構（36）が前記折り畳み位置にあるときに前記ディスプレイ（28）の前記リセス（68）に入れ子式に配置される、上項4のコンピュータ。

6. 前記連結機構（36）を、その動作範囲における任意の空間位置で安定させるスタビライザ機構（81）をさらに備える、上項4のコンピュータ。

7. 前記連結機構（36）は前記コンピュータ（20）から脱着可能である、上項1のコンピュータ。

8. 前記連結機構（36）を脱着可能に構成する第1の連結構造を有する上項10のコンピュータ（20）と、前記コンピュータ（20）を受けるためのドッキングステーション（88）を備えるコンピュータシステムであって、前記ドッキングステーション（88）は、前記コンピュータ（20）の前記第1の連結構造と略同一の第2の連結構造を有し、前記ドッキングステーション（88）を前記連結機構（36）とともに構成することが可能である、コンピュータシステム。

9. コンピュータ本体（22）及びディスプレイ（28）と、前記コンピュータ本体（22）及び前記ディスプレイ（28）に相互接続する連結機構（36）と、前記ディスプレイ（28）および前記連結機構（36）に相互接続されるポップアップ機構を備えるコンピュータ（20）であって、前記連結機構（36）は、前記ディスプレイ（28）を、前記コンピュータ本体（22）に対して前後に移動させ、及び、上昇させるように動作することができ、かつその動作により、前記ディスプレイ（28）および前記連結機構（36）を、前記ディスプレイ（28）が前記コンピュータ本体（22）に重なる折り畳み位置に移動させることができ、前記ポップアップ

ブ機構は、ラッチ時に前記連結機構(36)を前記折り畳み位置に保持し、かつ、ラッチ解除時に前記連結機構(36)を前記ディスプレイ(28)からポップアップさせると共に、前記折り畳み位置からポップアップ位置までポップアップさせるラッチ(64)を有するものであることからなる、コンピュータ。

10. 前記ディスプレイ(28)と相互接続される第1のピボット機構(47)と、前記連結機構(36)と相互接続される第2のピボット機構(27)をさらに備え、前記連結機構(36)は前記第2のピボット機構(27)を中心に移動可能であり、かつ前記ディスプレイ(28)は、前記第1のピボット機構(47)を中心に移動可能であって、前記連結機構(36)および前記ディスプレイ(28)を折り畳み位置に位置決めすることが可能な、上項9のコンピュータ。

【0021】

【発明の効果】本発明の手段によれば、ポータブルコンピュータを机上や膝の上などで使用する場合でも、広い範囲からディスプレイを見ることができるので、ユーザは、ポータブルコンピュータを簡単かつ快適に使用することができるようになる。

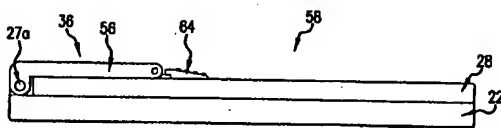
【0022】本発明の概要は次のようである。コンピュータ(20)は、コンピュータ本体(22)とディスプレイ(28)を備える。コンピュータ本体(22)は、前縁部(24)と後縁部(26)を有し、ディスプレイ(28)は表示面(30)、背面(32)、及び底縁部(34)を有する。コンピュータ本体(22)の後縁部(26)は、連結機構(36)によってディスプレイの底縁部(34)に相互接続される。連結機構(36)により、ディスプレイ(28)は、その底縁部(34)のまわりに複数の表示角度のうちの任意の角度に回転することができ、また、コンピュータ本体(22)上で複数の位置の任意の位置を向くことができる。ディスプレイ(28)と連結機構(36)を折り畳み位置に折り重ねることができる。任意選択的に、ポップアップ機構を設けることにより、ユーザがそれを作動させたときに、連結機構(36)を折り畳み位置からポップアップさせることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に従うコンピュータの斜視図である。

【図1A】連結機構を示す図1の部分の拡大図である。

【図4】



【図2】閉じた位置での図1のコンピュータの斜視図である。

【図3】開いた位置での図1のコンピュータの斜視図である。

【図4】閉じた位置での図1のコンピュータの側面図である。

【図5】開いた位置での図1のコンピュータの側面図である。

【図6】部分的に開いた位置での図1のコンピュータの側面図である。

【図7】部分的に開いた位置での図1のコンピュータの側面図である。

【図8】1つ表示位置における本発明のコンピュータの別の実施形態の斜視図である。

【図9】別の表示位置における図8のコンピュータの斜視図である。

【図10】ディスプレイを動かすための代替の方法を示す図8のコンピュータの斜視図である。

【図11】本発明のコンピュータの第3の実施形態の斜視図である。

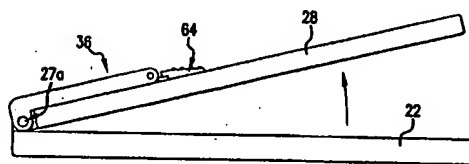
【図12】本発明のコンピュータの第4の実施形態の斜視図である。

【図13】ドッキングステーションとともに使用される本発明のコンピュータの斜視図である。

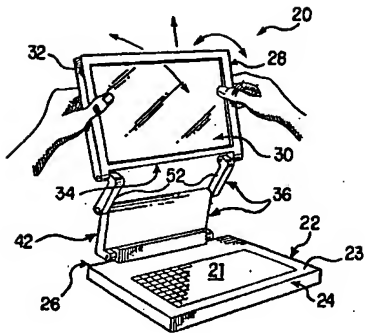
【符号の説明】

20	コンピュータ
21	キーボード
22	コンピュータ本体
24	前縁部
26	後縁部
27、47、57	ピボット機構
28	ディスプレイ
30	表示面
36	連結機構
68	リセス
81	スタビライザ機構
88	ドッキングステーション

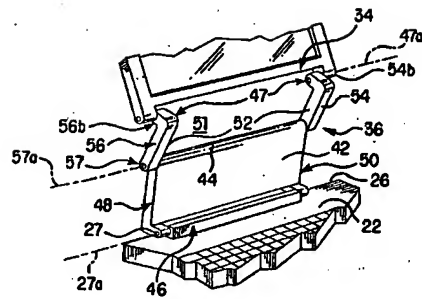
【図5】



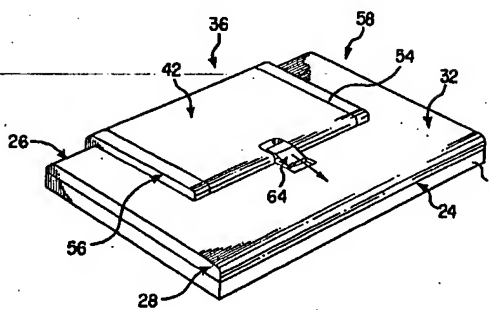
【図 1】



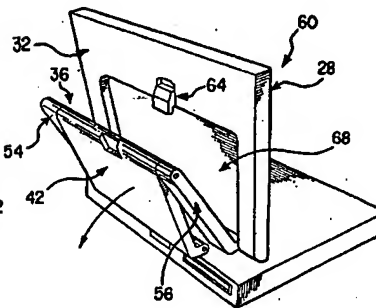
【図 1A】



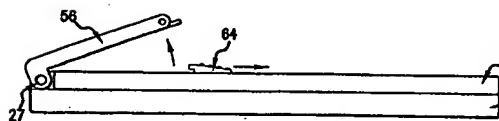
【図 2】



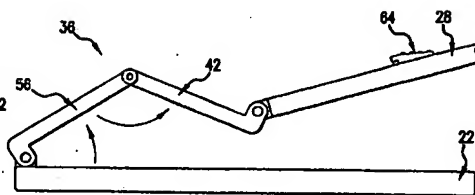
【図 3】



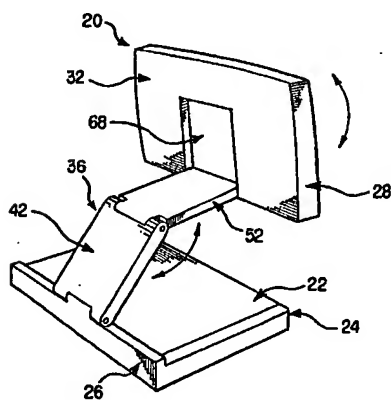
【図 6】



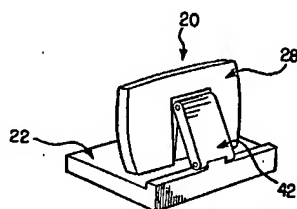
【図 7】



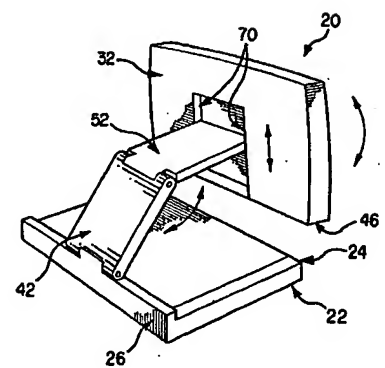
【図 8】



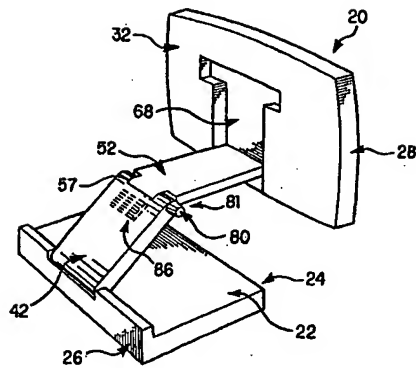
【図 9】



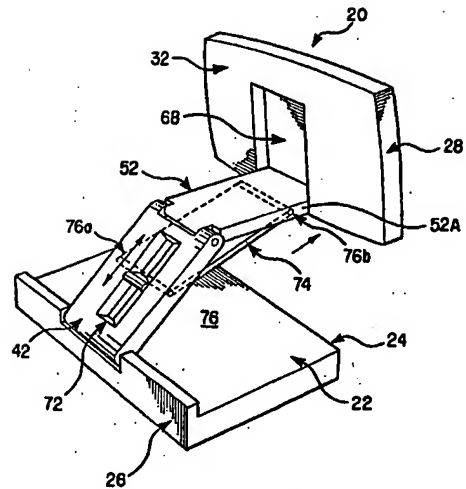
【図 10】



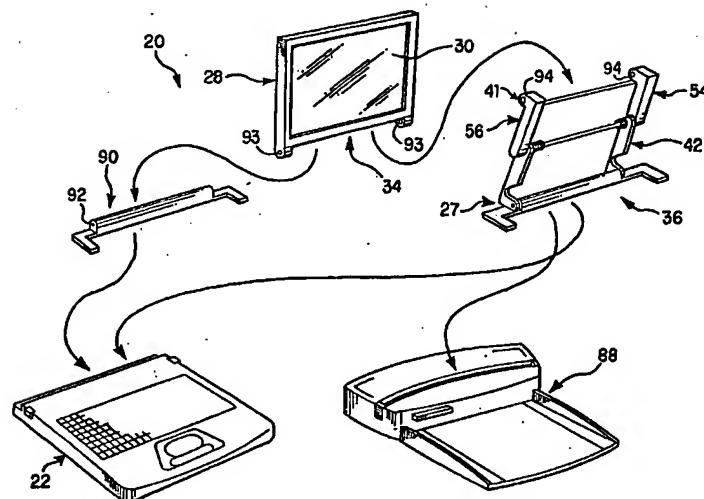
【図 11】



【図 12】



【図 13】



フロントページの続き

(72) 発明者 マイケル・ディー・デロチャー
アメリカ合衆国オレゴン州97330, コーバ
リス, ノースウエスト・スノーブラッシ
ュ・ドライブ・4476

(72) 発明者 ジェラルド・ダブリュー・ステイガー
アメリカ合衆国オレゴン州97333, コーバ
リス, サウスウエスト・フェアヘイベ
ン・ドライブ・4180

(72) 発明者 ジェイムス・アール・コール
アメリカ合衆国オレゴン州97321, アルバ
ニー, ボンデローザ・ドライブ・サウスウ
エスト・5921

Fターム(参考) 5G435 AA00 AA01 EE02 EE13 EE16
EE19 EE49 GG41 LL07

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成15年3月14日(2003. 3. 14)

【公開番号】特開2002-6990(P2002-6990A)

【公開日】平成14年1月11日(2002. 1. 11)

【年通号数】公開特許公報14-70

【出願番号】特願2001-104306(P2001-104306)

【国際特許分類第7版】

G06F 1/16

G09F 9/00 312

// H04N 5/64 581

【FI】

G06F 1/00 312 F

G09F 9/00 312

H04N 5/64 581 C

【手続補正書】

【提出日】平成14年12月5日(2002. 12. 5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 前縁部(24)と後縁部(26)を有するコンピュータ本体(22)であって、キーボード(21)が、前記前縁部(24)から使用するための向きに該コンピュータ本体(22)に設けられていることからなる、コンピュータ本体(22)と、

表示面(30)を有するディスプレイ(28)と、連結機構(36)と、

前記連結機構(36)を前記コンピュータ本体(22)の後縁部(26)および前記ディスプレイ(28)に枢動可能に相互接続するための手段を備えたコンピュータ(20)であって、

前記連結機構(36)は、前記ディスプレイ(28)を前記前縁部(24)に近づけたり、遠ざけたりするとともに、前記コンピュータ本体(22)に対して上昇させるように動作させることができ、前記ディスプレイ(28)は、前記前縁部(24)に向かって前記表示面(30)と共に弧を描くように回転する、コンピュータ。

【請求項2】 前記動作は、前記ディスプレイ(28)および前記連結機構(36)を、前記ディスプレイ(28)が前記コンピュータ本体(22)に重なる折り畳み位置に移動させることが可能である、請求項1のコンピュータ。

【請求項3】 前記ディスプレイ(28)および前記連結機構(36)と相互接続されるポップアップ機構をさ

らに備え、前記ポップアップ機構は、ラッチ時に、前記連結機構(36)を前記折り畳み位置に保持し、ラッチ解除時に、前記連結機構(36)を前記ディスプレイ

(28)からポップアップさせるとともに前記折り畳み位置からポップアップさせるラッチ(64)を有する、請求項2のコンピュータ。

【請求項4】 前記ディスプレイ(28)と相互接続される第1のピボット機構(47)と、前記連結機構(36)と相互接続される第2のピボット機構(27)とをさらに備え、前記ディスプレイ(28)は、折り畳み位置に対して前記第1のピボット機構(47)を中心に回転可能であり、前記連結機構(36)は、前記折り畳み位置に対して前記第2のピボット機構(27)を中心に回転可能である、請求項2のコンピュータ。

【請求項5】 前記ディスプレイ(28)はリセス(68)を有し、前記連結機構(36)は、前記ディスプレイ(28)および前記連結機構(36)が前記折り畳み位置にあるときに前記ディスプレイ(28)の前記リセス(68)に入れ子式に配置される、請求項4のコンピュータ。

【請求項6】 前記連結機構(36)を、その動作範囲における任意の空間位置で安定させるスタビライザ機構(81)をさらに備える、請求項4のコンピュータ。

【請求項7】 前記連結機構(36)は前記コンピュータ(20)から脱着可能である、請求項1のコンピュータ。

【請求項8】 前記連結機構(36)を脱着可能に構成する第1の連結構造を有する請求項1のコンピュータ(20)と、

前記コンピュータ(20)を受けるためのドッキングステーション(88)を備えるコンピュータシステムであって、前記ドッキングステーション(88)は、前記コ

ンピュータ（２０）の前記第１の連結構造と略同一の第２の連結構造を有し、前記ドッキングステーション（８８）を前記連結機構（３６）とともに構成することが可能である、コンピュータシステム。

【請求項９】 コンピュータ本体（２２）及びディスプレイ（２８）と、前記コンピュータ本体（２２）及び前記ディスプレイ（２８）に相互接続する連結機構（３６）と、

前記ディスプレイ（２８）および前記連結機構（３６）に相互接続されるポップアップ機構を備えるコンピュータ（２０）であって、

前記連結機構（３６）は、前記ディスプレイ（２８）を、前記コンピュータ本体（２２）に対して前後に移動させ、及び、上昇させるように動作させることができ、かつその動作により、前記ディスプレイ（２８）および前記連結機構（３６）を、前記ディスプレイ（２８）が前記コンピュータ本体（２２）に重なる折り畳み位置に

移動させることができ、

前記ポップアップ機構は、ラッチ時に前記連結機構（３６）を前記折り畳み位置に保持し、かつ、ラッチ解除時に前記連結機構（３６）を前記ディスプレイ（２８）からポップアップさせると共に、前記折り畳み位置からポップアップ位置までポップアップさせるラッチ（６４）を有するものであることからなる、コンピュータ。

【請求項１０】 前記ディスプレイ（２８）と相互接続される第１のピボット機構（４７）と、前記連結機構（３６）と相互接続される第２のピボット機構（２７）をさらに備え、前記連結機構（３６）は前記第２のピボット機構（２７）を中心に移動可能であり、かつ前記ディスプレイ（２８）は、前記第１のピボット機構（４７）を中心に移動可能であって、前記連結機構（３６）および前記ディスプレイ（２８）を折り畳み位置に位置決めすることが可能な、請求項９のコンピュータ。